

ドキドキ！洋子とソノエのイタリア旅

ミラノ赴任中の姪夫婦に誘われて、知的障害の娘ソノエ（40歳）とイタリアへ。今までツアー旅行したことはあるけど、今回は初めての母娘二人旅。

6/10 成田空港から直行便でミラノへ。娘の事を考え、隣のシートとの距離がとれる「プレミアムエコノミー」で。チェックインカウンターで事情を伝え、二人で入れる広いトイレの位置を聞く。

セキュリティ検査では係員に娘の障害を伝え、簡単な方法で通過。出国手続きも二人一緒にOK！

搭乗時、日本語の話せるキャビンアテンダントに娘の事情を伝えて、サポートをお願いする。機内ではよく気にかけて下さり、着陸前には「最初に話してくれたのでよかったです」「よい旅を祈っています」との言葉をいただく。

13時間かけてミラノ、マルペンサ空港着。子連れの子のイタリア人女性を頼りに後をついて歩いたら、途中で片言の日本語で話しかけられ少し会話。入国審査の場所を指さして教えて下さる。聞かれるであろう紙と、パスポートをしっかりと持って二人で入国審査へ行く。パスポートだけ見て、娘に「バイバイ」。用意した紙を見る事なく通過。「えー」とびっくり。迎える姪夫婦とも会い安心。夕食はなしで早く寝る。

6/12 列車でベネチアへ。左手は娘の二の腕をつかみ迷子防止、右手はバックに手を置いてスリ予防。旅先で必ずすることといえば、まず障害者用トイレを確認する。ある有料トイレでは丁寧に案内してくれた上「お金はない」と身振り。

6/14 娘のリードで女三人イタリア縦断の旅スタート。留守番役の夫に「行ってきます」。飛行機、バスと列車を乗り継いで崖の町カステッラネータの宿に着。イタリア人と日本人の夫婦が経営する、愛犬の名前がついた小さな宿「レオの家」。



レストランで マイリハ・原編集長と

6/15 アルベロベッロへドライブ。夕食は洞窟レストランで。

6/16 カプリ島へ。駅を降り、姪が「この場所から絶対に動くな」「カバンを盗まれないように」「声をかけられても知らんぷり」と、

きつい言葉を残しバス乗り場を探す。やっとバスに乗れてやれやれ。景色の良い宿のベランダで夕日を観ながら、近くの店で買ったチーズ、生ハム、果物をいただく。



6/17 青の洞窟。でも、姪が帽子を落としてしまった！娘は「帽子、海へ泳いでいっちゃった」と何回も言っている。モンテソーロ登山用一人乗りリフトのことも「ブランコだった」とくり返す。怖くても頑張ったね。

6/18 トスカーナ、ロンダの宿。とてもどかで夕食は宿の家族と一緒に。星空の下、ローソクの明かりで、蛍があちこちに。

6/19 朝食はパラソルの下で。カモの巣作り、小魚、アヒルをみて、お菓子を食べて半日過ごす。

午後は宿の娘さん達の人に人参を持って会いに行く。「馬さんに人参やった」「蛍がいた」「カモさん」など。

6/20～21 フィレンツェからフェラーリ博物館へ。

by ソノエ



青の洞窟

by フリー素材から

「カックイー」「高くて買えないにー」。女子三人旅、何事もなく元気に「ただいま」。

6/23 ミラノ最後の夕食は姪の夫が手作り、こだわりの炒飯。仕事から帰ってきて、すぐにキッチンへ。ソノエ、前日から「明日は炒飯」と楽しみにしていたので大盛りをベロリ。

6/24 ミラノ、複雑で広い空港から出国。「搭乗口まで目印を見て歩けば大丈夫」と言われ二人で頑張る。搭乗時、日本人アテンダントの方に事情を話す。後は日本語で。安心して12時間の長旅。

6/25 成田空港で「おかえりなさい」の大きな文字。帰ってきたー！

我が家に着くまで気を引き締めてともう一度言い聞かせ、天に守られて無事帰宅。玄関は明るく、台所のテーブルにはお隣さんからの夕食差し入れ。ご飯、味噌汁、漬物、焼きナス、フライが。感謝、感謝でおいしくいただきました。

(清水洋子)

ワンコインセミナー予定変更のご案内

平成29年度ワンコインセミナーは（公財）日本社会福祉弘済会の助成を受けることができました。その為、春号にお知らせした内容を変更し、各界の重鎮をお招きして貴重な内容のセミナーを名古屋で開催します。春号を見て参加予定された方には深くお詫び申し上げます。

セミナーはワンコイン（参加費500円）でどなたでも参加できます。会場は定員に余裕を持って用意しましたので当日受付を基本としますが、準備の都合上事前にご連絡いただけたらと助かります。E-メール（support@otsupport.or.jp）にて、氏名、所属をお知らせください。

日時	場所	講師	テーマ
H29.9/30 (土) 13:00～16:00	ウインクあいち 1308特別会議室C	日本音楽活動研究所 山崎郁子先生	医療・福祉分野で用いる音楽の活用法①
H29.10/1 (日) 9:30～11:30	ウインクあいち 1308特別会議室C	日本音楽活動研究所 山崎郁子先生	医療・福祉分野で用いる音楽の活用法②
H29.11/30 (木) 18:30～20:30	日本福祉大学 名古屋キャンパス	革細工講師 笹原節子先生	革細工と作業療法
H29.12/17 (日) 13:30～16:00	中部盲導犬協会 大会議室	日本聴導協会会長 有馬もと先生	生活支援及びリスコムユニケータとしての補助犬
H30.1/28 (日) 13:30～16:00	日本福祉大学 名古屋キャンパス	闘ウオームプランケッ 小林博之先生	インディアンフルートと作業療法
H30.2/25 (日) 13:30～16:00	中部盲導犬協会 大会議室	赤坂動物病院総院長 柴内祐子先生	作業療法におけるセラピー犬の活用

マイ・リハ広告募集のお知らせ

マイ・リハでは、掲載する広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

Ergo エルゴの出版物 (株)エルゴでは、リハビリテーションに関する書籍の出版をおこなっています。

脳卒中とリハビリテーション	脳卒中とリハビリテーション	脳卒中とリハビリテーション	脳卒中とリハビリテーション
定価 2160円 (税込)	定価 2700円 (税込)	定価 2700円 (税込)	定価 864円 (税込)

脳トレクイズの答え

1	タ	ケ	シ	ナ	ノ
2					
3	カ	イ	ギ	ミ	ス
4					
5	ネ	コ	ジ	タ	タ
6					
7	ド		エ	ク	セル
8					
9	マ	メ	シ		ジ
10					
11	リ		コ	ー	ビー
12					
13					

出題、A～Dをつなげてできる4文字のことばの答えは「タノシミ」でした。

ホームページのご案内

当法人のホームページは <http://www.otsupport.or.jp/> から。「マイ・リハ」のバックナンバーもご覧になれます。

次号予告

2018年春号（第7号）も引きつづき「お出かけ」をテーマに特集します。どうぞお楽しみに。

みなさまのリハビリを応援します



●東海リハビリ再発見情報誌
2017年 秋号 (第6号)

発行：NPO 法人作業療法支援ネット
〒491-0858 愛知県一宮市栄3-5-6
電話：0586-58-5976 FAX：0586-58-5353
<http://www.otsupport.or.jp/>
kazuko-h@otsupport.or.jp

Ergo 株式会社エルゴ 〒491-0858 愛知県一宮市栄3-5-6
電話：0586-58-5976 FAX：0586-58-5353